

我が国では、急速な少子高齢化による様々な地域課題をデジタル技術やデータを活用することで解決しようとする政策が進められています。しかし、それらはどのように進められ、これまでと何が変わるのでしょうか。

本フォーラムでは、今年1月に運用がはじまったデジタル地域通貨「まにこいん」の活用といった身近なテーマを取り扱いつつ、大阪府豊能町で「コンパクトスマートシティ」の取り組みを進める一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会江川氏等と一緒に、スマートシティ、データを活用したまちづくりについて考えていきます。

とき：令和5年2月14日（火）17：30－19：30

ところ：勝山文化センターポンテホール（真庭市勝山319）

参加費：無料 ※申込みは右記QRコードからお願い致します。

## 基調講演

# 「誰でも始められるスマートシティとデータ活用の世界」

江川将偉（一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事）



江川 将偉

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（CSPFC）

代表理事

元SELTECH代表取締役。IoT向けセキュリティ基盤の構築やAI開発に従事し、2017年7G（17）にて日本代表のイノベーターとしてDigital Transformation Teamに参加。

株式会社OZ1 代表取締役。スマートシティデジタルプラットフォームの開発に取り組む。

大阪府スマートシティ戦略 元アドバイザー、OSPFプロジェクト 立上げ、その他大学講師や自治体アドバイザー等として「デジタル活用まちづくり」に従事。

現在、大阪府豊能町をスマートシティのモデル地区として全国にスマートシティを「コピー&ペースト&地域オリジナル（CPO）」で簡単に始められるモデルを展開中。

# 真庭市データ活用フォーラム

誰でも始められるスマートシティとデータ活用の世界

申込みQRコード



参加費無料



川田 修平

※地域通貨「まにこいん」採用プラットフォーム「Money Easy」開発元

株式会社フィノバレー 代表取締役社長

慶應義塾大学総合政策学部卒。PwCコンサルティングでERPシステムのコンサルタント、ボストンコンサルティンググループで戦略コンサルタントとしてプロジェクトを推進。GEで保険事業を担当した後、エス・エム・エスで看護師などの医療従事者向けコミュニティサイトの運営、看護師向け雑誌、通販事業の買収・PMIから運営・推進を担当。

株式会社アイリッジ入社後はFinTech事業推進チームを立ち上げ、「さるぼぼコイン」「アクアコイン」「せたがやPay」などのデジタル地域通貨プロジェクトを推進し、現職に至る。

## フォーラム

# 「市民生活を向上させるデータ活用と仕組み」

モデレータ 山本正行（株式会社まちと学びのイノベーション研究所代表取締役CEO）

発表者 櫻井彩子（真庭商工会女性部）

森安啓（株式会社トマト銀行営業統括部次長）

川田修平（フィノバレー代表取締役社長）

大石登紀子（豊能町まちづくり創造課課長補佐）

樋口竜悟（真庭市総合政策部総合政策課課長）

## 各種相談コーナー

※当日会場内に設置予定

- ・スマホよろず相談コーナー（一般社団法人真庭GadgetCreations）
- ・事業者向け「まにこいん」相談コーナー（株式会社トマト銀行）